

平成28年度 教育指導の重点

- 1 教育目標
高校生活のあらゆる場において、ひたむきに自己の可能性を追求できる、視野の広い、心豊かな青年を育成する。
- 2 校訓
「進取 努力 創造」
- 3 スローガン
「一人一人の文武両立」
「さわやか挨拶日本一多治高生」
- 4 教育方針
 - (1) 一人一人の文武両立を目指し、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成
 - (2) 進取の気概にみち、克己心に富む生徒の育成
 - (3) 自己教育力を高め、自己実現を目指す生徒の育成
 - (4) 自ら目標を立て、最後までやり抜く姿勢を保つ生徒の育成
 - (5) 豊かな情操と人間性に富んだ生徒の育成
 - (6) 人とのつながりを大切にし、コミュニケーション能力や協調性をもった生徒の育成
- 5 指導の重点
 - (1) 教科指導について
 - ア 生徒の興味・関心を喚起し、一人一人を生かす学習指導を展開する。
 - イ 基礎的・基本的な学力を定着させ、主体的な学習態度の育成に努める。
 - ウ 生徒の可能性・能力を最大限に伸ばすために、創意工夫ある授業の実践に努める。
 - エ 存在感・成就感・達成感をもたせる授業を展開する。
 - オ 学習指導の力量を高めるため公開授業・研究授業等を通して、教科研修を深める。また、授業評価の実践を深める。
 - (2) 進路指導について
 - ア 個人及び学校の進路目標を明確にし、その実現のために生徒一人一人の特性を的確に把握すると同時に、適切な進路情報の提供や進路相談の充実に努める。
 - イ 学校内外の支援環境を最大限に活用し、「開かれた進路指導」を推進する。
 - ウ 生徒が自己及び他者への理解を深め、自己効力感や自己有用感を促進・保持しながら、自らの在り方・生き方を考え、主体的な進路選択・検証・決定ができるようキャリア教育の充実に努める。
 - エ 新しい入試制度に対応できる指導方法を研究する。
 - (3) 生徒指導について
 - ア 学校生活のあらゆる場において、自らを律することができる、自律力・自己指導能力の育成に努める。
 - イ 信頼と愛情を基盤とした生徒理解に徹する指導を推進する。
 - ウ 生徒一人一人の人格や尊厳を大切にしつつ、問題行動の早期発見に努め、早期指導を徹底する。
 - エ あらゆる機会をとらえ、生徒一人一人のかかえる課題を把握し、積極的な教育相談に努める。
 - オ 家庭や地域の教育力を生かした生徒指導を推進する。
 - (4) 特別活動の指導について
 - ア 学習活動と相互補完の関係を重視し、豊かな人間性とたくましい実践力の育成に努める。
 - イ ホームルーム活動においては、教師と生徒及び生徒相互の人間関係を深めるとともに、人間としての在り方、生き方に関する指導の充実に努める。
 - ウ 部活動においては、生徒の自主的・実践的な態度を尊重し、礼節を大切にして向上心、責任感、忍耐力等の育成を目指しつつ、集団における個の役割についても考えさせる。
 - エ 学校行事及び生徒会活動においては、生徒の自主的活動を重視し、リーダーの養成を図るとともに、帰属意識の高揚に努める。
 - オ 奉仕活動を中心とした勤労体験などに取り組みさせることにより、豊かな心の育成に努める。
 - (5) 健康・安全指導について
 - ア 生徒自らが健康で安全な生活を営むための能力・態度の育成を図る。
 - イ 校内や通学路の安全点検を実施し、安全で快適な学習環境を整備する。
 - ウ 自然災害や危機、健康被害に対する管理体制を確立し、教育活動全体を通して安全教育の徹底に努め、生命尊重の理念を身に付ける。